

●森島秀治  
(ひろしま清風会・東区)  
・広島市から「いじめ」をなくすために  
・認知症対策  
・防災重点ため池対策  
●福田心平  
(広島維新の会・西区)  
・広島城の整備  
・広島型公共交通システム  
・恵下埋立地(仮称)  
●門田佳子  
(無党派クラブ・中区)  
・パールハーバー国立記念公園と姉妹公園協定  
・スクールセクハラ  
・こども図書館整備  
・市営墓地  
●西佐古晋平  
(自民党・市民クラブ・安芸区)  
・広島市立中央図書館の移転  
・広島サッカースタジアム  
・町内会への支援  
・子育て支援  
・おたふくかせワクチンの費用助成  
・ふるさと納税  
・中野公民館・中野出張所の建替  
え  
●川本和弘  
(公明党・安佐南区)  
・地域公共交通  
・带状疱疹ワクチンの定期接種化  
・市立保育園で働く保育士への支援

●岡村和明  
(市民連合・市民の声・南区)  
・高度医療・人材育成拠点  
・中国軍管区司令部跡の保存と活用  
・幻肢痛を軽減するVR技術開発  
・ものづくり文化の伝承  
・地域活性化における地域猫活動  
・安全で快適な道路ネットワークの整備  
・道路上に設置された段差解消のためのブロック  
・特別市の実現に向けて  
●山路英男  
(自民党・市民クラブ・東区)  
・「はだしのゲン」  
・防災  
・基町ショッピングセンター

●本文中に赤表記した用語は4面で解説しています。

**広島城の整備**  
問 広島城の大手守の木造復元と小守二基の整備を求める。「歴史・文化の発信拠点」としていく中で、大型の博物館となる「広島城三の丸歴史館」をどのような施設にする計画なのか。  
答 「築城前の広島」や「城下町広島」の発展と文化、「原爆と広島城復興」などのテーマを設定し、広島市の歴史や文化、広島城の歴史を系統的に学べるようにし、「広島城下絵屏風」などの実物資料を展示するほか、小守二基を復元した広島城天守の大型模型の製作や「三の丸屋敷」にあった茶室を再現する予定である。また、VR等の技術を活用しながら、かつての姿を紹介することを検討している。

**市民の足を守るべき**  
問 公共交通を取り巻く環境が急速に変化している中、持続可能な公共交通体系を構築することは非常に重要である。市長はなぜ「広島型公共交通システム」を構築しようと考えたのか。  
答 公共交通は、市民や来訪者の移動や輸送を担うとともに、教育・医療・福祉といった基礎自治体の根幹的行政サービスに深く関わるものであることから、公共交通を支えることは本市の重要な責務である。この責務を果たしつつ、本市が目指すまちづくりを実現するためには、「広島型の新たな公共交通システム」の構築が必要と考えた。

**子育て支援の拡充**  
問 「広島市市民意識調査」で、「広島市は子育てしやすいまちだと思わない」と「子育ての経済的負担の軽減策が充実していない」との回答が多数あったことを受け、子育て支援に係る新たな負担軽減策などを行う考えはないか。  
答 よりきめ細やかな相談支援を行うための体制を強化するため、令和6年度、各区に「こども家庭センター」を設置するほか、子育て世帯の孤立感等を解消するため、安佐南区に常設のオープンスペースを新設する。国が令和6年度に実施予定の児童手当の拡充の中で、子育て家庭の経済的負担の軽減について対処できることから、その円滑な制度運用に向けて取り組む。

**中野公民館等の建て替え**  
問 地域から提出された「中野公民館の活用ビジョン」を受け、中野公民館等の建て替えについて、今後どのように対応していくのか。災害時に安心して避難できる施設等としても整備してほしいがどうか。  
答 地域コミュニティの核となる公民館にすべく、地元の方々の意向を尊重して、それに資するような施設を検討していきたい。また、どのような防災機能が必要かをよく精査し、近隣住民のニーズにしっかりと対応していきたい。施設にしたい。

**乗合タクシーの地域負担分**  
問 乗合タクシーの運行に係る補助制度を活用する際の地域負担分に、ひろしまLMOの助成金を充てることはできるのか。また、その場合、運行ルートにひろしまLMOの活動範囲を越える部分が含まれても良いのか。  
答 ひろしまLMOが設立された地域において、生活交通の確保を地域課題と捉え、その解決のために乗合タクシーを運行することがLMOの事業計画に位置付けられれば、地域負担分に充てる事が可能となる。また、活動する地域を越えて乗合タクシーを運行する場合も同助成金を充てる事が可能だが、費用負担の在り方については、運行ルート沿線の他の地域とも話し合うことが重要と考える。

**带状疱疹ワクチン、定期接種化へ**  
問 定期接種化の議論を加速させるためにも、本市のレセプトデータを厚労省に提供するなど、国と連携、協力を進めてはどうか。  
答 レセプトデータの国への提供が定期接種化に係る議論の加速に資するのであれば、望ましいと考えられることか。必要なデータの内容及個人情報の取り扱い等について、国と協議の上、進めていきたい。

**はだしのゲンを用いた平和教育**  
問 「はだしのゲン」の中には、天皇への批判や「君が代」を歌うことを拒否するシーンがあるが、児童から、そのシーンについて質問が出た場合、どのように指導するのか。  
答 本作中に掲載されている事柄や発言等は、作者の被爆体験を基に、多様な境遇にある登場人物の、それぞれの立場からの思いや考え方が描かれているものであると理解している。天皇への批判や「君が代」を拒否するシーンについては、児童から質問があった場合は、その児童の思いや考えをしっかりと聴いた上で、当時の時代背景や、立場によってさまざまな考え方があったことを、発達段階に応じて丁寧に説明するなどの対応を行う。

**被爆の実相を伝える漫画は他にも**  
問 子どもたちに被爆の実相をもっと知ってもらうため、学校の図書室には、「はだしのゲン」と一緒に被爆の実相に触れた他の漫画も置くべきだと思いがどうか。  
答 次代を担う子どもたちがより多くの被爆体験や平和への思いに触れることは重要であると考えており、令和5年7月には、原爆投下後や戦中戦後の子どもたちの姿を描いた絵本を紹介するリーフレットを作成し、学校に配付した。今後は、漫画も含め、より多くのヒロシマを描いた作品を学校で紹介する等の取り組みを進めていきたい。

**ものづくり文化を若い世代に!**  
問 今、若者や子どもたちのものづくり離れが進んでいる。ものづくりの面白さや奥深さを知ってもらうためには、ものづくりの現場を見ることが、そして、そこにある技術の価値を肌で感じることが重要であると思いがどうか。  
答 ものづくりの面白さや奥深さを若者や子どもたちに伝えていくことは、若者に地元で働いてもらうことにつながり、本市の産業を維持するためにも重要である。若者がものづくりへの理解を深める取り組みに参加しやすい仕組みづくりに向けて、「ひろしま自動車産業学官連携推進会議」などの枠組みも活用しながら検討する。

**大州と東雲の架け橋を!**  
問 今後、東雲地区は新南工場の稼働、大州地区は商業施設のオープンなどにより新たな賑わいの創出が期待できることから、通常約1.5km間隔で橋が架かるデルタ地帯のように、猿猴川の東大橋と仁保橋の2.5kmの間に橋を建設してはどうか。  
答 当該橋梁は、両地区住民の交流促進による地域コミュニティの活性化に寄与することや、災害時に新たに地域防災拠点となる新南工場への避難路として機能することなどが期待できることから、令和6年度、整備効果の検証や交通処理などの調査・検討に着手したい。

**多死社会と市営墓地**  
問 高齢化に伴う多死社会が迫っており、「墓じまい」がクローズアップされている。東区以外の市営墓地にも合葬墓を設ける検討を始めてはどうか。また、本人の生前の希望を叶えやすくするため、本市も合葬墓の生前予約を受け付けてはどうか。  
答 数十年は現在の合葬墓で希望者の求めに応じられると考えられるため、現時点では、新設する必要性は感じていない。生前予約は、住所変更等で本人と連絡がつかなくなる懸念など、墓地管理上の課題があると考えている。まずは他都市の状況を確認し、本市の在り方を検討したい。

**スクールセクハラ**  
問 子どもが性被害に遭わない環境作りが重要。本市は、児童生徒が性被害に遭わないために、教員にどのような教育を、どのような頻度で行っているのか。本市教育委員会ホームページにスクールセクハラ等性犯罪の相談先を掲示すべきではないか。  
答 教員の初任者・中堅教諭・新任管理職研修等での性暴力に関する事例研修、外部講師による講義などを通じて、教員としての資質向上を図っているほか、各学校では、校長が不祥事防止のための研修を計画的に実施する中で、少なくとも年1回は性暴力の問題を取り上げている。ホームページには、性被害を相談できる青少年総合相談センターのバナーを設けるなど検討する。

**スクリーン**  
問 「はだしのゲン」の中には、天皇への批判や「君が代」を歌うことを拒否するシーンがあるが、児童から、そのシーンについて質問が出た場合、どのように指導するのか。  
答 本作中に掲載されている事柄や発言等は、作者の被爆体験を基に、多様な境遇にある登場人物の、それぞれの立場からの思いや考え方が描かれているものであると理解している。天皇への批判や「君が代」を拒否するシーンについては、児童から質問があった場合は、その児童の思いや考えをしっかりと聴いた上で、当時の時代背景や、立場によってさまざまな考え方があったことを、発達段階に応じて丁寧に説明するなどの対応を行う。

**被爆の実相を伝える漫画は他にも**  
問 子どもたちに被爆の実相をもっと知ってもらうため、学校の図書室には、「はだしのゲン」と一緒に被爆の実相に触れた他の漫画も置くべきだと思いがどうか。  
答 次代を担う子どもたちがより多くの被爆体験や平和への思いに触れることは重要であると考えており、令和5年7月には、原爆投下後や戦中戦後の子どもたちの姿を描いた絵本を紹介するリーフレットを作成し、学校に配付した。今後は、漫画も含め、より多くのヒロシマを描いた作品を学校で紹介する等の取り組みを進めていきたい。

